

欧陽予倩「屏風の後ろ」について
—作品論と翻訳—

夏 嵐・磯部 祐子・森賀 一恵

富山大学人文学部紀要第54号抜刷

2011年2月

欧陽予倩「屏風の後ろ」について

—作品論と翻訳—

夏 嵐・磯部 祐子・森賀 一恵

1 はじめに—作者欧陽予倩について—

小文は、「屏風後（屏風の後ろ）」の作品論および全訳であり、同時に、中国語独幕劇上演を取り入れた中国語言語文化演習授業（2010年前期）の報告を兼ねる。

今回取り上げた作品「屏風後」は、欧陽予倩（1889—1962）が、1929年5月『戯劇』（広東）第1巻第1期に発表した独幕劇である。欧陽予倩は、本名立袁，号南傑，湖南の人で、「欧陽予倩伝略」¹によれば、「（欧陽予倩は）著名なる芸術家であり，戯劇教育家であり，わが国の話劇の開拓者であり，戯劇運動創始の人でもある。（中略）1907年に日本で春柳社に参加してから1962年に北京で亡くなるまで，半世紀もの長きに亘って戯曲事業に携わり，話劇・京劇の出演，劇本の執筆，映画の演出，戯劇理論の研究，旧劇の改革，戯劇教育など多方面に懸命に努力し，多くの成果を挙げ，多大な貢献をしてきた」という。俳優としては蓮笙，蘭客などの芸名をもち，評論家としては桃花不疑庵主のペンネームをもつ。創作した戯曲は古典劇劇本27，現代劇劇本21（うち独幕劇17，多幕劇4）で，そのほか，翻訳及び翻案6（多幕劇5，独幕劇1）の計54の作品がある²。

欧陽予倩は，湖南省瀏陽県の知識人の家庭に生まれ，北京・長沙などで学んだのち，1902年に14歳で日本にわたり，成城中学（士官予備学校的性格をもつ）に入る。15歳で卒業するも，希望の学校に進学できずに，1905年に一度帰国し，1906年に再び来日，明治大学商科入学，早稲田大学文学科に転入する。1907年には李息霜らが組織する劇団「春柳社」³に参加。李息霜，曾孝谷，陸鏡若等とともに東京で話劇「黒奴吁天録」⁴（アンクル・トムの小屋）に出演する。同年7月には，東京新富座で新派の名優である河合武雄，伊井蓉峰の舞台「熱血（トスカ）」⁵を

1 蘇関鑫「欧陽予倩伝略」（『欧陽予倩研究資料』 p.1 知識産権出版社 2009）

2 「欧陽予倩劇作選前言」（『欧陽予倩研究資料』 p.130 知識産権出版社 2009 初出：1956年5月人民文学出版社『欧陽予倩劇作選』巻首）

3 1906年秋に東京の中国人留学生が組織した芸術団体。1907年より活動開始する。

4 林琴南の劇本を改編したもの。

5 ヴィクトリアン・サルドウ（Victorien Sardou, 1831-1908）の五幕ものの戯曲La Tosca（トスカ）（ブッチーニの歌劇トスカの原作）。日本・中国のトスカ受容についての研究としては，飯塚容「『ラ・トスカ』『熱血』『熱涙』—日中両国における『トスカ』受容」（『中央大学文学部紀要文学科73号』1994）がある。

見て感動し、1909年に東京でその中国語での改訳「熱涙」を演じて話劇の関心を更に具体化していく。しかし、1910年父の死を機にやむなく帰国し、話劇の実践の舞台を中国に移す。後、1912年、上海で「新劇同志会」⁶を結成して話劇の公演を重ね、やがて中国における話劇の土台を築く先駆者となり、1914年からは京劇の新作をも手がける。以後、作品創作に加えて、戯劇雑誌の出版、評論、教育など多方面において幅広く活躍した。

以上、極めて簡単に日本との関わりを中心にその一生をまとめたが、途中、数年帰国した期間があったとはいえ、14歳から22歳までの最も受容力があり多感な時期を日本で生活したことになる。日本の新劇が欧陽予倩にいかなる影響を与えたかについては、谷崎潤一郎との比較などで研究はなされてきている⁷が、中国話劇史を見るうえで、更に詳細な研究が必要と思われる。

2 作品とその誕生の背景

「屏風の後ろ」は、道德維持会会長・康扶持の偽善が、昔、彼が弄んだ女によって暴かれるというシニカルな芝居である。

1920年代末、上海の、道德維持会の看板が掲げられた一部屋が舞台である。会長の息子・康無垢と会員たちが賭けトランプに興じている。そこへ、各地を転々としながら女優業で生計を立てる母・憶情とその娘・明玉がやってくる。会長の息子はどうやら明玉に気があるらしく、明玉を屏風の後に引っ張り込む。憶情は、そんな二人の様子に気が気ではない。

道德維持会会員のたわいもない言葉に触発され、憶情は「女の身を滅ぼした破廉恥な男ども」に「革命起こしたい」という。ついで、その口から甘い若き日のロマンスとその後の男の裏切りによる悲劇が語られる。憶情が愛した男は、北京で陸軍将校の娘と結婚するために憶情を捨てたのだった。憶情には男との間に既に娘と息子がいたが、男は北京にいったまま戻らないため、彼女はやむなく北京まで探しに行く。しかし、男は、跡継ぎになる息子だけを取り上げて卑劣な手段で憶情と娘を追い払う。

その卑劣な男は誰か。トランプ仲間による詮索が開始されたとき、突如、道德維持会会長・康扶持が帰ってくる。賭けトランプに興じていた息子と会員たちに対してその不道德を咎める康扶持。彼が道德を大上段に振りかざし訓戒を垂れているとき、屏風の後から、彼の目の前に、

6 1912年年初に陸鏡若が上海で馬絳士、呉我尊、欧陽予倩等に声をかけたのに始まる。その後新しい会員を加えて組織した職業的演劇団体である。

7 張沖「日本新劇と中国話劇の影響関係－谷崎潤一郎と欧陽予倩との交流を中心として」(『語学教育研究論叢』(26), 271-291, 2009 大東文化大学語学教育研究所) 参照。

憶情が現れる。彼女の身の上話に出てきた卑劣な男は他ならぬ康扶持であることが暴かれ、康無垢と明玉が兄妹であることが明らかになる。康無垢は運命の酷さに「自殺以外の道」はないと飛び出す。かたや、道德の仮面を剥がされた康扶持は、突きつけられた事実を前に、「女は道德の妨げだ」と言い、あくまでも自らの非を認めない。

この作品において、「屏風の後ろ」は、実際の舞台のセットとして用意された空間であるのみならず、作品のテーマを象徴するものとなっている。舞台に置かれた屏風の後ろには、康扶持の突然の帰宅によって、慌てて隠れた憶情と明玉がいる。彼女たちは、道德を標榜する男・康扶持が不道德にも捨てた妻と娘であり、彼の道德が虚偽であることの動かぬ生きた証拠である。突然帰ってきた康扶持は、トランプに興じていたと思われる息子や道德維持会会員たちを叱りつける。見れば屏風には派手な衣装がかけられており、その怒りは更にエスカレートしていく。「社会の道德を維持するためには、まず自分の道德を維持しなければならぬ。社会の強化を維持するためには、まず自分の品性を正さねばならぬ。お前たちは身をもって道德を実行すべきなのだ。」「屏風の後ろには誰がいるんだ？さあ、屏風を取り払え。」道德維持会会員たちの不道德に対し、道德の権化のように康扶持は憤る。

しかし、道德維持会職員の趙は、どうあっても、屏風は取り払えないと言い張る。「もし、道德を維持しようとするなら、まずこの屏風を維持しなければなりません。」それでも、それをたわ言として耳を貸さない康扶持。やがて、屏風から、かつて弄び子までなしながら、私利私欲のために捨てた女が現れる。ここで、屏風は、不道德を覆い隠し、「道德を維持する」ものであったことが明らかになる。

既にのべたように、この作品は、1929年に描かれたとされる⁸。歐陽予倩は、この前後に、いくつかの作品を書いたが、1928年には京劇「潘金蓮」を発表し⁹、周信芳とともに舞台に立った。その「潘金蓮」とそれ以降の作品について、歐陽予倩自身が以下のように述懐している。「私は潘金蓮から創作内容がやや変化し、国民党反動政治を暴露する短い劇を書くようになりました。一・二八事変(上海事変)の刺激を受け、私の思想は前に一步踏み出し、労働者と農民だけが、中国共産党だけが中国を救うことができると考えたのです」¹⁰。確かに、「潘金蓮」において、潘金蓮は男に抑圧された被害者と性格付けされ、罪を犯すにいたる環境が鋭く暴かれるという社会批判の強いものになっている¹¹。以後、1929年「屏風の後ろ」「車夫の家(原題:車夫之家)」「商売(原題:買売)」、1931年「英さん(原題:小英姑娘)」「李団長の死(原題:李団長之死)」

8 蘇関鑫「歐陽予倩年表」(『歐陽予倩研究資料』p20 知識産権出版社 2009)

9 初演は1927年。次節参照。

10 「我自排自演的京劇」(『歐陽予倩研究資料』p64 初出:1959年12月「一得余抄」)

11 鈴木直子「歐陽予倩作品にみる女性像の翻案について」(『お茶の水女子大学中国文学会報』(20) 2001) において同様の見解が示されている。

1932年「三家族同居（原題：同住的三家人）」「忘れないで（原題：不要忘了）」などの作品には、道徳を標榜しながら裏では不道徳を働く者、いくら働いても搾取されてしまう車夫、自国の不利益も顧みず買弁で私腹を肥やす者などが辛辣に描かれるようになる。

これらの作品の多くは、その題材を当時生活していた広州に求めたようである。「屏風の後ろ」も、舞台は上海とされているが、実際のモデル地は広州であった。「車夫の家、屏風の後ろ、商売で描かれているのは実際のところ三家族同居と同じで、全て広州のことです。しかし上演のときめんどいなことを避けるため、舞台を他の都市にしているのです」と述べている¹²。登場人物も特定し得る実在の人物をモデルにしていた可能性は高い。「屏風の後ろ」は、現実の不条理を強く意識して創作したのである。

ところで、「屏風の後ろ」の康扶持のように、糟糠の妻を捨てたり、かつて関係した女性を出世のために顧みなくなったりする男は、中国の物語の中にしばしば登場する。伝統劇「秦香蓮」の陳世美、話劇『雷雨』の周樸園はその代表である。とりわけ、後者は、舞台となる周家の主人・周樸園の実の息子と娘が愛し合うという点でも、「屏風の後ろ」と大きく類似する。次節では、「兄妹恋」というテーマに焦点を当てて、この作品の話劇史における意義を考えてみたい。

3 『屏風後』における「兄妹恋」

欧陽予倩が話劇を創作する際に特に劇のプロットが劇的かつ感動的であることに拘ったのは、おそらく彼が作者であると同時に俳優であることと大きく関わるだろう。彼は京劇俳優としては、梅蘭芳と並び称されて、一時、「南欧北梅」という言い方もあったし、文明戯、話劇の俳優としては、田漢、洪深などより舞台に接したのが早かったので、観衆の心理を熟知して舞台効果を高める重要性を知り、その方面で独自の工夫を凝らしていたことは想像に難くない。

1925年、当時「アマチュア戯劇運動」の中心的存在であった上海戯劇協社が編集出版した『劇本彙刊』第一集には、独幕劇二作品と四幕劇一作品が収められているが、欧陽予倩が1922年に書いた独幕劇『澆婦（じゃじゃ馬）』の名も見える。「五四」以降は、多くの有名作家や無名作家が戯曲を書いていたので、全体として戯曲作品は膨大な数にのぼっていた。その数多の作品の中から『劇本彙刊』第一集が選び抜いた3部の中に入っていたのだから、『澆婦』に際立って優れた点が多々あったことは間違いない。

イプセンの『人形の家』が中国で紹介されてから、自由恋愛や自由結婚を描く作品の中に、一時、ノラのように女が家を出て行くプロットが増え、そのような芝居を「出走戯」と呼ぶ人

12 「欧陽予倩劇作選付記」（『欧陽予倩研究資料』 p131 初出：1956年5月人民文学出版社『欧陽予倩劇作選』）

もいるが、欧陽予倩の『澆婦』にもそれに似たプロットがある。高い教育を受け、夫と自由恋愛で結婚したヒロインが、夫が旧習に屈して妾を納れたという事実を知って、毅然と夫のもとを去る。それだけでなく、夫が新しく納れた妾まで連れて行く。欧陽予倩のこの描き方は、従来の描き方に比べ、新時代の女性の姿をより鮮明に印象づける。新時代の女性は出て行くというやり方で自身の反抗を示すのみならず、未だ覚醒せざる抑圧された他の女性を動かす。妾も妻とともに反抗することによって、作品は、女性の自立を顕彰するだけでなく、弱者を救い、人を啓蒙するというより広く深い意味を持つことになった。そのような人物形象は、舞台効果の上でも強烈な感動を呼び起こしやすく、ヒロインの独立独歩の精神と、意表をつく行動は、いずれもタイトルの「澆婦」とぴったり合い、人を引きつけてやまない。「出走戯」を読み飽きた読者や見飽きた観衆も、二人の女性がそろって出て行くというひねりの効いたプロットで、新鮮な感じをうけたのである。

『澆婦』の人を引き付けてやまない作風は、その後の『屏風後』でも味わうことができる。似非君子の真実が鋭く無情に暴かれ、痛快にあますところなくさらけ出されるプロットの巧みさはいうまでもないが、同時に、プロットの構成という点では、『屏風後』は、実はかなり「刺激的」で、かなり「面白い」芝居なのである。それは、劇中の相愛のカップルがなんと実の兄妹だという設定がもたらす衝撃による。いうまでもなく、実の兄妹が愛し合うのは、間違いなく人類の社会道徳の最低限のルールに抵触し、倫理や社会の許さぬことである。そのようなことが起これば、悲劇的結末に至ることは火を見るよりも明らかである。文学作品でこのようなプロットを用いると、『オイディプス王』のように、尋常ならざる衝撃をもたらす。いいかえれば、強烈な演劇的効果を得るためにこそ、そのようなプロットが考え出され、用いられたのである。

それより少し早い田漢の1927年の独幕劇『鄉村小景』にも、実は、似たようなプロットがあるが、「問題」はまだそれほど深刻ではない。十数年前、拐された長男が北軍の部隊に従って南方に戦いにやってきて、通りがけに家に戻った際、大人になった妹を実の妹とは知らずにからかっているところを、南軍に服役していた次男に見つかる。二人は殴りあいの喧嘩をし、ともに命を落としてしまう。このような、軍閥が入り乱れ、民衆に甚大な被害をもたらしたという深刻な題材の作品は、ややもすれば大げさなだけで空っぽのスローガンに墮し、芸術的な生命力を失いがちである。しかし、田漢は、普通の人の物語として書いた。血を分けた兄弟が敵味方としてあい見え、年老いた母親が一瞬のうちに、二人の息子を失う。それら一切が、兄が妹をからかうという許しがたい事実に起因している。その表面的な事実から、読者は「一葉落ちて天下の秋を知る」ように、ある一家に起こった悲劇の詳細を具体的にたどることで、重苦しい社会全体の現実を実感し、この上なく沈痛な気持ちになるのである。十数年も家を離れていた長男が実の妹を全く知らなかったとはいえ、伝統的な倫理の大禁忌を犯したという事実に変わりはなく、そのような伝統的倫理を犯すと、読者、観衆からみても、大きな代償を支払わ

ねばならないというのは情理に適うし、想像もできる。しかし同時にいったいどんな代償を払わねばならないのかというのが予測できないだけに恐ろしい。二種の矛盾するかのようにみえる感情が交錯し、強い演劇的な期待を醸成する。

『郷村小景』は、1927年に上海芸術大学が開催した田漢主宰の演劇発表会「魚龍会」で初演された。その際、欧陽予倩もその会に参加し、自分の創作した京劇『潘金蓮』を舞台上で演じているので、田漢のこの芝居を観た可能性はきわめて高い。『郷村小景』から何らかの啓発を受けたか否かは知る由もないが、『屏風後』も「伝統的な倫理を犯す」というプロットの応用の技法をさらに一步推し進めたものである。当事者の一人康无垢がただただ「自分には自殺する以外に道はない」ということから、「問題」は『郷村小景』よりもはるかに深刻だということがわかる。欧陽予倩は『屏風後』で戯曲作品の常套である「隠された真実」という手段を用い、併せて周囲の人物の動作や対話を通じて「隠された真実」を絶えず鮮明に際立たせる。通常「隠された真実」というのは、劇中の人に隠されているだけで、観衆は知っているものである（先述の『郷村小景』がそうである）。観衆は、自分は安全な距離を保ったうえで興味津津で事態の移り変わりを注視するので、リラックスして楽しめる。しかし、『屏風後』はより巧妙で、観衆にも真実を知らせない。山東の何とか会の会長は誰なのかも、康正名が康扶持であることも知らず、最も致命的なのは、康無垢と明玉が実の兄妹であることを知らないことだ。プロットが展開していくにつれ、観衆の気持はかき乱されて不安をかきたてられ、最後にはその不安が不幸にも最悪の結果という形的中する。真実を知らない…不安になる…不安が的中する。短い独幕劇で、このように徐々に巧妙に観衆の気持に自由自在に揺さぶりをかける。その手法は非常に見事だと言わざるを得ない。それだけではない。真実を知らなかった恋人たちが、いったいどの程度伝統的な倫理を犯したのかは、劇中では明らかに描かれていない。それなら、彼らは、どのような罰を受けるのか、どの程度まで罰せられるのか、こういった様々な事柄が、幕が降りた後も、想像の余地を残す。

それから数年を経た後、曹禺の四幕悲劇『雷雨』の中で、この「伝統的な倫理を犯す」というプロットはその極致にまで達する。この作品は1934年に発表されたが、これを契機として、中国の話劇創作は徐々に完成度が高まっていく。

『雷雨』の数種類の版本の細部にはやや異同はあるが、基本的なプロットは以下の通りである。鉱山主の周樸園は、若い時、召使の魯侍萍と愛し合って二人の子を儲けたが、その後、周樸園はまた妻を娶るため、侍萍と重病で瀕死の下の子を追い出した。二十年あまり後、河に身を投げて救われた侍萍は、再婚後生んだ娘の四鳳がなんと周樸園の家で召使をし、周家の若様周萍と愛し合っていることを知る。侍萍はすぐに四鳳を連れ去ろうと決めたが、四鳳は既に身ごもっていた。すべての真相が明らかになり、四鳳は部屋をとび出て雷雨の中、感電して死に、周萍は書斎でピストル自殺する。この戯曲の人物関係は複雑で、話の筋は錯綜している。それは

作者の複雑なプロットの処理能力の高さの表れであるとともに、芝居じみている不自然だという批評を受けるもとにもなる。この戯曲の構造については別稿で論じることとして、ここでは、幾つもの筋の中の一筋、四鳳と周萍の恋愛という一筋にのみ注目すると、曹禺が禁忌を犯す恋愛というプロットの深刻さを極限にまで高めていることがわかる。実の兄妹(異父同母)なのに愛し合う、秘密裏に愛し合って妊娠するに至る。それら一切は、当事者が全く真実を知らない状況下で起こるのだが、すべて人倫・道徳から許されない「罪悪」なのだ。許されないからこそ、その罰は最悪のもので、四鳳と周萍は揃って死んでしまうことになるのである。劇中人物が抱える数多くの矛盾は最終的にはその人物の破滅によって解決される。観衆は、劇中人物の破滅に同情するとともに、運命のはかなさに感慨も一入^{ひとしお}で、人の力ではいかんともしがたい宿命に対し、自然と畏怖の念がわき起こる。

曹禺が欧陽予倩から「兄妹恋」のプロットを受け継いだのかどうかは定かではないが、田漢の『郷村小景』も含むその作品群を見る限り、近親相姦の恋愛物語は、倫理の最大の禁忌に触れるが、きわめて刺激的なもので、巧みに構成することによって、作品に面白みを添え、読者や観衆をより引き付けることができるようだ。言い換えれば、このような物語をいかに自然で理にかなうように構成するかということこそが、作者の腕の見せ所で、それぞれ、「手品は誰でもできるが、やり方は人によって異なる」というものである。欧陽予倩は、「兄妹恋」を最初に用いた作家ではなく、彼の後にもそれをよりスリリングに描いた作家はいたが、『屏風後』はそれを非常に巧妙に用いて、人に衝撃を与え恐れおののかせる、倫理道徳に悖る恋愛を通して、社会的地位の高い人物を徹底的に嘲笑し、さらに一歩進んで、異常な恋愛が生まれた根本の原因を考えさせる。それによって、この作品は、ただの覗き見趣味の、扇情的な物語にとどまらず、社会性のある、現実的な重厚感を具えたものとなったのである。

4 『屏風後』—原文と翻訳—

屏風后

屏風の後ろ

人物

登場人物

康扶持——原名康正名，道德維持会会長。

康扶持 — 本名康正名^{カンチョンミン}，道德維持会会長。

康无垢——其子。

康无垢 — 康扶持の息子。

赵、钱、孙、李、周——道德維持会職員。

趙^{チャオ}、錢^{チエン}、孫^{スン}、李^リ、周^{チョウ} — 道德維持会職員。

忆情——女伶。

憶情 — 女優。

明玉——其女。

明玉 — 憶情の娘。

吴某

ウー
吳某

仆人

下女

布景

舞台

一间旅馆房间,中间有门,可通内室,下手一个屏风,外面一张圆桌,几把椅子。上手一张沙发。沙发旁边是门通外边,几个人在打扑克。开幕……

とある旅館の一室。正面に扉があり、奥の部屋に通じている。下手に屏風があり、その外側に丸テーブルと数脚の椅子がある。上手にはソファがあり、ソファの横には外に通じる扉がある。数人の男がカードをしている。幕が開く…

赵 : 扑克牌真是好东西。

趙 : カードは本当にいいもんだな。

钱 : 外国人作的东西当然是好。

錢 : 外国人の作ったものは当然いいさ。

赵 : 你看用力丢都没一点儿响声。

趙 : ほら力任せに叩きつけても全く音がしない。

李 : 我们在这里打牌,人家还当我们是在这儿办公事呢!

李 : 我々がここでカードをやっている、人が見たら、我々がここで仕事をしていると思うな。

周 : 中国的纸牌何处不是一样!

周 : 中国のカルタも同じじゃないか!

康无垢:那到底是时代之落伍者。

康無垢:やっぱり時代後れの代物だからな。

钱 : 物质文明当然比不上外国。

錢 : 物質文明は当然外国に及ばん。

李 : 精神的文明当然让中国独步。

李 : 精神文明は当然中国が一番さ。

周 : 所以外国的牌,中国人打,是物质文明与精神文明的结晶。

周 : だから外国のカードを中国人がやるのは物質文明と精神文明の結晶だ。

〔大家同笑。〕

〔一同笑う〕

康无垢:不是结晶是结婚。(大家又笑)老赵你看不看?

康無垢:結晶でなくて結婚さ。(一同また笑う)趙さん、賭けるかい?

赵 : 拿这种精神就可以使外国的科学和中国道德结婚来。

趙 : そういった精神でやれば外国の科学与中国の道德を結婚させることができるわけだ。

康无垢:别瞎扯了。问你看不看呢!

康無垢:ふざけてないで。賭げるかってきてるんだ。

赵 : 看牌有什么意思,不如让她来让我们多

趙 : カードで賭けたってつまらん。それ

看几眼。

周 : 胡闹, 耽误功夫。

康无垢: 真是!

赵 : 我的牌, 论理是没有看的资格, 可是我要想孝敬我们少会长几块钱。

康无垢: 老赵就欢喜胡闹。

赵 : 会长的少爷当然是少会长, 我们应当表示敬意。两块钱看一看吧。

康无垢: 我两对, King two pair, 刚刚是一对 King, 一对 Queen。

赵 : 恭喜恭喜真好兆头。

钱 : 皇帝跟皇后见面, 才能可以结婚呢。

赵 : 好好好, 我们来劝进, 就请少会长荣登九五作皇帝, 回头明玉来了, 就请她作皇后。

大家: 是的是的, 我们来劝进。

康无垢: 胡说八道, 败坏人家的名誉, 真不道德。

赵 : 饮食男女, 人之大欲存焉。夫妇人之大伦也, 有什么不道德?

李 : 道德本从结婚起。

周 : 不道德也从结婚起。

钱 : 逢场作戏又待何妨, 明玉可真好。

周 : 她的妈忆情也不错。

より彼女を呼んで眺めて楽しもうじゃないか。

周 : ばかなことって、時間を無駄にして。

康無垢: まったくだ。

趙 : 私の手は理屈からいけば、賭けるほどの手ではありませんが、若会長に敬意を表して数元差し上げたいと存じます。

康無垢: 趙さんはふざけてばかりなんだから。

趙 : 会長の若様は当然若会長ですから、我々は当然敬意を表すべきです。二元賭けましょう。

康無垢: 私はツーペア, King two pair, ちょうど King ワンペアと Queen ワンペアだ。

趙 : おめでとうございます。吉兆ですな。

錢 : 皇帝は皇后に会ってこそ、結婚できるのさ。

趙 : いいぞ、我々で帝位に即かれるよう御進言しよう。若会長に帝位に即いていただいて、あとで明玉が来たら、彼女に皇后になってもらおう。

一同 : そうだ、そうだ。御進言しよう。

康無垢: ばかなこと言って、人の名誉を傷つけて、全く不道德なことだ。

趙 : 「飲食男女、人の大欲存す」(『礼記』礼運)で、夫婦は人の大倫です。不道德なことなどあるもんですか。

李 : 道德はもともと結婚から生じるものだ。

周 : 不道德も結婚から生じるものだ。

錢 : 遊びだっつかまうものか。明玉はほんとうにすばらしい。

周 : 母親の憶情もなかなかのものだ。

赵 : 正所谓有其母必有其女。

康无垢: 不对, 要说有其女必有其母。

赵 : 不错, 不错, 女子应当注重。

大 家: 不错, 不错。

康无垢: 因为她们好才值得我们逢场作戏。

孙 : 逢场作戏本来无关于风化。

赵 : 那可不然, 在内地就不行, 到了上海租界上谁认识我们。

李 : 这叫到一时说一时。

康无垢: 所以说孔子圣之时者也!

大 家: (笑)

康无垢: 明玉怎么还不来!

周 : 她若是不来似石沉大海。

赵 : 她若肯来便成双成对。

李 : 你们也别太高兴了, 恐怕会长一回来就沒命了。

赵 : 决不会回来的, 他去见大人去了, 他说三天才回来, 今天还没到两天呢。

康无垢: 我们老人家, 他真是说几时回, 一定几时回, 从来不变的。

李 : 会长不在, 我们就这样胡闹, 总怕有点儿说不过去。我们都是道德维持会的会员, 万一人家知道了, 登我们一段小报, 那可糟了。

趙 : それこそ「その母にしてその娘あり」さ。

康無垢: 違う, それをいうなら, その娘にはその母ありだ。

趙 : その通り, 娘の方が大事だ。

一同 : その通り, その通り。

康無垢: 彼女たちが素晴らしいからこそ, 我々が遊ぶ価値があるんだ。

孫 : 女遊びは本来道徳には関係ない。

趙 : そんなことはない。内地ではだめだが, 上海の租界なら, 我々を知る人はいない。

李 : それを「時によりけり」というのさ。

康無垢: だから「孔子は聖の時の者なり(孔子は聖人の時代の人だ)」というんだ。

〔一同笑う〕

康無垢: 明玉はどうしてまだ来ないんだ。

周 : もし彼女が来なければ話はこれでおしまいだ。

趙 : もし彼女が来てくれればカップル誕生だ。

李 : お前たちもほどほどにしておけよ。会長が帰ってきたら, 命はないぞ。

趙 : 帰ってくるはずないさ。お偉いさんに会いにいったんだ。三日しないと帰らないと言っていたが, 今日はまだ二日にもなっていない。

康無垢: 会長は帰るといった時間に必ず帰ってくる。絶対予定通りだ。

李 : 会長がいないとこんな風に騒ぐというのでは, やっぱりちょっと申し訳が立たん。我々は皆道德維持会の会員だぞ。もし人に知られてタブロイド紙に載ったりした

孫 : 目下的小报可真该死, 专门打听人家的隐私。

康无垢: 只要你们不乱说, 谁会知道, 这不过是偶然的事。

周 : 我们这也是调查社会情形。

康无垢: 对呀, 情形不熟, 怎么能够维持风化呢?

赵 : 对呀! 我不入地狱, 谁入地狱?
(大家笑。忆情和明玉同来, 大家放下牌。)

赵 : 阿弥陀佛, 你们可来了!
(明玉脱下披风挂在屏风上。)

忆情: 明玉要到外码头去, 刚在那儿谈着。

康无垢: 到哪儿去?

忆情 : 大约是到汉口。本来想到山东去, 山东的包银还多些, 听说那边有个什么会长老爱和女戏子作对, 我想免得去讨麻烦。

康无垢: 山东哪里?

忆情 : 济南。
(大家相视会意而笑。)

赵 : 济南那个地方没有汉口好, 你还是到汉口去。

康无垢: 济南比汉口好。

赵 : 是的不错, 济南比汉口好。你到济南去也

ら大変だ。

孫 : 近頃のタブロイド紙は本当にひどくて, 人のプライバシーばかり嗅ぎまわるからな。

康無垢: あんたたちがしゃべりさえしなげりゃ, 誰にわかるっていうんだ。これはたまたまだから。

周 : これも社会情勢の調査さ。

康無垢: そうだよ。情勢がわからなきゃ, どうやって道徳を維持できるんだ。

趙 : そうですとも, 私が地獄に行かなげりゃ, 誰が行くっていうんです。

〔一同笑う。憶情と明玉が連れだつて来る。一同, カードを置く。〕

趙 : 南無阿弥陀仏, やつといらっしゃいましたか。

〔明玉がマントを脱いで屏風にかける〕

憶情 : 明玉がよそに行くので, いまその話をしましたの。

康無垢: どこに行くんです?

憶情 : たぶん漢口に。もともと山東に行くつもりだったのです。山東の方がギャラが多いので。でも, そちらには何とかの会長がいていつも女役者を目の敵にすると聞きましたので, 面倒を避けようと思ひまして。

康無垢: 山東のどこですか。

憶情 : 济南です。

〔一同, いわくありげに顔を見合わせて, 笑う。〕

趙 : 济南というところは漢口ほどよくない。やっぱり漢口にお行きなさい。

康無垢: 济南は漢口よりいいよ。

趙 : そうです, その通り, 济南は漢口よ

很有个意思。

忆情：你们不是从山东来的吗？知道济南有个反对的会长没有？

赵：有……可是……

康无垢：没有。

忆情：没有？听说是什么维持会。

赵：那一定是谣言。

忆情：只怕你们不知道，那边的领班说的，他还想用钱疏通那会长呢。

周：别管他，我们还是打牌玩儿罢。

忆情：我先要喝点儿酒。

赵：我刚才开了一瓶白兰地，你喝罢。

（在沙发后取酒斟与忆情，又斟与明玉。）

忆情：谢谢。

赵：明玉姑娘，你也来一杯，预祝你跟个好姑爷。

明玉：呸。

忆情：她不会喝酒，我也从来不让她喝。

赵：你自己就喝得，却不让女儿喝，真是只许州官放火。

忆情：我是不同，我怎么忍心教她和我一样！

りいいです。済南に行ってもいいかもしれません。

憶情：あなた方は山東からいらっしゃったんじゃないませんか？済南に女役者に反対している会長がいるかどうか御存じありません？

趙：いますが……でも……

康無垢：いません。

憶情：いないですって。何とか維持会とか聞いておりますが。

趙：それはきっとデマです。

憶情：あなた方が御存じないだけじゃないかしら。あちらの興行主は、お金でその会長に手を回すつもりだとおっしゃってましたから。

周：そんなのほっといて、カードやりましょうよ。

憶情：先にちょっとお酒をいただきたいわ。

趙：今しがたブランデーの瓶を開けたんだ、お飲みなさい。

〔ソファの後ろで酒を取り、憶情に注いで明玉にも注ぐ。〕

憶情：ありがとう。

趙：明玉さん、あなたも一杯どうぞ、あなたがいいお婿さんに嫁ぐ前祝いだ。

明玉：ふん。

憶情：この娘は飲めませんの。私もずっと飲ませてきませんでしたし。

趙：自分が飲んで、娘に飲ませないなんて、まったく自分のことを棚にあげて。

憶情：この娘は私とは違うわ。この娘を私と同じようにさせるなんて、つらくてできるもんですか。

康无垢：忆情，你来替我。

忆情：好，输了可别怪我。

赵：康爷不在乎的，我是老上海，他们都是客帮，我介绍你认识这几位先生，就是要叫你替他们输几千银子给我，我是讲道德的人，决不说假话。

周：老赵少说废话，还是赶快输几文过来。

（这时康无垢一手拉着明玉到里面屋里去，大家假咳嗽。

赵：（故意把帘子去放了）

忆情：（一面喝酒）真会捣乱，我回头和你算账。

赵：包你没错，女儿大了，你应当教给她些轧姘头的道理才是。

忆情：我几时轧过姘头？狗嘴里长不出象牙！

周：骂得好，骂得好，老赵真是坏种……

忆情：进不进？（喝酒）

赵：进进进，不进你又骂我怯战了。

忆情：你要死了。

李：老赵真不道德。

赵：论文章不及诸公，论道德却未敢多让，可是老赵的道德跟人家的不同。

李：怎么不同？

康无垢：憶情，私の代わりにやってくれ。

憶情：いいわ、負けても文句は言わないで下さいね。

趙：康様は気になさらないさ。私は上海人だが、彼らはみな他所の人だ。私があんたにこの人たちを紹介したのも、あんたにこの人たちに代わって数千元負けてもらって儲けるためさ。私は道德にうるさいから、決して嘘はいわないよ。

周：趙さん、つまらんこと言ってないで、さっさと負けろ。

〔そのとき、康無垢が明玉を引っ張って奥の部屋に行く。一同咳払い。

趙（部屋の入り口のカーテンをわざと下ろす。）

憶情：（酒を飲みながら）本当にひどいこととするのね。あとで、片を付けてやるから。

趙：大丈夫だよ。娘が成長したら、情婦の術も教えなけりゃならんさ。

憶情：私がいつ情婦をやりました？下品な人は真つ当なことが言えないのね。

周：いいぞ、言ってやれ、趙さんは本当に悪い奴…

憶情：カード出すの出さないの？（酒を飲む）

趙：出しますよ。出さなかったら今度は臆病者って罵られるから。

憶情：どうしようもないわね。

李：趙さんは本当に不道德だ。

趙：知恵では皆さんに及ばないが、道德に関しては負けませんよ。しかしこの趙さまの道德は人の道德とは違うのさ。

李：どう違うんだ？

赵 :人家的道德,是要维持名誉,我的道德是要骗骗女人就够了。忆情是不是?

大家 :该死该死。

〔这时候听见明玉细声地唱,大家叫好,不宜大声,有一个人在门口张一张。

门外声:会长回来了。

〔大家一惊,无垢急跑出来,有一个人从门口走进来。

康无垢:老吴,原来是你啊!吓我们一大跳。

赵 :我听声音,就知道是他。

吴某 :拿赌拿赌,你们都是道德……

康无垢:我们什么都不是,你不许胡说!

赵 :加入加入。

〔大家和之。

吴某 :好好好,你们知法犯法,我等会长回来告诉他!

周 :我们这也是学时髦。

吴某 :原来知法犯法是时髦?

康无垢:不然,犯法要犯得漂亮才时髦。

周 :是了,犯法要不让人知道就是漂亮。

李 :不然,犯法要让人好像知道,好像不知道才算漂亮。

趙 :他の人の道德は名誉を守るためのものだが、私の道德は女さえごまかせればそれでいいんだ。憶情そうじゃないかい?

一同 :どうしようもない奴だな。

〔そのとき、明玉がか細い声で歌うのが聞こえ、一同「いいぞ」と掛け声をかけるが、大声を出すわけにはいかない。男が戸口でキョロキョロしている。

外の声:会長が帰ってきたぞ。

〔一同驚き、無垢は急いでとび出してくる。一人の男が戸口から入ってくる。

康無垢:呉さん、なんだあんたか。びっくりさせられたよ。

趙 :私は声で呉さんだとわかりましたよ。

呉某 :賭博取り締めりだぞ。お前たちは皆道德…

康無垢:我々は何者でもない。いい加減なことを言うと許さんぞ。

趙 :仲間に入れよ。

〔一同同調する。

呉 :これは、これは、法を知ってて違反するんだな。会長が帰ってきたら、言いつけてやる。

周 :こんなことをやってるのも流行を追ってるだけのことさ。

呉 :なるほど、法を知ってて違反するのは流行だったのか?

康無垢:そうじゃない。法律違反はきれいにやってこそ流行なんだ。

周 :そうだ。法律違反して人に知られないのがきれいなやり方さ。

李 :そうじゃない。法律違反して、人に知られてるようでもあり知られていないよ

- 钱 : 不然, 犯法要犯得简直让人知道, 可是抓不着证据, 才算漂亮。
- 孙 : 不然, 犯法要犯得人家抓着证据, 却把你无可奈何, 那才叫漂亮。
- 赵 : 不然, 犯罪要人家都当你犯得好, 犯得有道理, 犯得有趣, 那才叫漂亮。
〔大家笑。〕
- 吴某 : (对忆情) 明玉呢?
- 忆情 : 没有来。
- 周 : 漂亮漂亮, 说假话分明是犯妄言的罪, 可是“没有来”这三个字说得又清又脆又娇又媚, 真好, 真有趣, 真漂亮, 老赵的话是不错的。
- 赵 : 这还不算, 无垢兄才真漂亮呢!
- 康无垢: 怎么又弄到我头上来了?
- 赵 : 偷偷摸摸地偷人家的女儿偷不着, 就明火执仗的抢, 抢到后头房里去, 把帘子放下来, 不让大家看见, 可见我们觉得这一抢真好, 真有趣, 真有趣, 就证明我们的无垢先生是漂亮, 还有一个人更漂亮……
- 〔周, 赵上前把帘子打起, 明玉走出来, 大家放
- うでもあるというのこそきれいなやり方だといえる。
- 钱 : そうじゃない。法律違反は完全に人に知られてるが, 証拠が見つからないというのこそが, きれいなやり方といえるんだ。
- 孫 : そうじゃない。法律違反は証拠をつかまれても人にはどうにもできないというのこそが, きれいなやり方といえる。
- 趙 : そうじゃない。犯罪は人がみな素晴らしい, もっともだ, おもしろいと思ってこそ, きれいなやり方といえるのさ。
〔一同笑う。〕
- 吳某 : (憶情に) 明玉は?
- 憶情 : 来てません。
- 周 : きれいなもんだ! 嘘をつくのは明らかに「妄言」の罪を犯しているわけだが, 「来てません」という五音, これをまたきりつとさわやかに, あだになまめかしく言ったもんだ。素晴らしい。もっともだ。本当にきれいだ。趙さんが言ったことは正しいな。
- 趙 : これはまだまだだ。無垢さんこそ本当にきれいなもんだよ。
- 康無垢: どうしてまた私にお鉢が回ってくるんだい?
- 趙 : 人の娘をこっそり盗もうとして失敗して, 公然と強奪し, 奥の部屋まで連れて行って, カーテンを下ろし, 人に見られないようにするなんて, 我々がこの強奪を素晴らしい, もっともだ, おもしろいと思うのもわかるでしょう。それこそ我々の無垢さんのやり口がきれいであることの証明です。もう一人もつときれいな人が…
- 〔周, 趙が進み出て, カーテンを開くと,

- 下牌。
- 赵 :你们看,漂亮不漂亮。
- (大家笑,都说漂亮。)
- 吴某:(上前拉着明玉的手)这可了不得了,原来有这许多花样。
- 赵 :将来红蜡烛一点,进了房上了床,花样还要多呢!
- 忆情 :红蜡烛一点就什么花样都没有了。(喝一口酒)
- 赵 :女人家是上了床才有花样的。
- 忆情 :几千年男子的下流无耻,都被你代表完了!
- 周 :骂得好。
- 康无垢:这句话好像革命党说的活。
- 忆情 :在青天白日旗底下,连句革命话都不会说,那不完了吗?可是我真想革命。
- 赵 :我也想革命。
- 忆情 :你配?
- 赵 :我想革女人的命,女人一来就把我们的牌局扰了,回头还要扰得我不能睡觉。
- 吴某 :忆情,你想革什么命?你想挂皮带穿军装吗?
- 忆情 :我不说了。
- 明玉 :妈妈,不要说罢,说了让他们学了乖去。
- 赵 :这样一来,我们倒非要听听不可。
- 明玉が出てくる。皆カードを置く。
- 趙 : どうだい, きれいだろうが。
- [一同笑い, みな口々にきれいだという。]
- 呉某 : (進み出て明玉の手をとり) これは大したものだ。なんとこんなにも手があったのか。
- 趙 : 将来, 婚礼の赤い蠟燭が^{とも}点り, 部屋に入ってベッドに上がれば, 手はもっとたくさんあるさ。
- 憶情 : 赤い蠟燭が^{とも}点ってしまえば, どんな手もなくなるわ。(酒を一口飲む)
- 趙 : 女はベッドに入っこそ, 手があるのさ。
- 憶情 : 数千年の男の破廉恥をあなたはすっかり体現しているわ。
- 周 : その通りだ。
- 康無垢: その言い方は革命党の話みたいだな。
- 憶情 : 青天白日旗の下で, 革命の話もできないようなら, おしまいでしょ? だけど, 私は本当に革命したいわ。
- 趙 : 私も革命したいよ。
- 憶情 : あなたにその資格がある?
- 趙 : 女に革命をおこしたいのさ, 女が来るなり, 我々のゲームをぶち壊しにして, それからまた私が眠るのを邪魔するんだから。
- 呉某 : 憶情, 何を革命をしたいんだって? ベルトを締めて軍服でも着たいのかい?
- 憶情 : 何も申しませんわ。
- 明玉 : お母さん, 言わないで, 言ったらこの人たちお利口になっちゃうわ。
- 趙 : そうだとすれば, 我々は聞かないわけにはいかん。

周 : 我们大家来请愿。

大家 : 好, 大家请愿。

康无垢: 我来领衔。

(他与赵, 周一同蹲到明玉的面前。

赵 : 请大总统俯念群情, 加以训示, 不胜感戴之至。

康无垢: 别扰。

明玉 : (笑不可抑)

康无垢: 你说你说。

明玉 : 我们母亲是要革男人的命。

赵 : 几千年来男人被女人害死的不知道多少呢? 我正要报仇。

忆情 : 女人被男人害死的, 不知道几百几千倍。那是不在你们那篇账里头, 有账你们也不算的。

赵 : 算女人的账那才是傻子呢。可是我的话是有证据的。

忆情 : 我的话更有证据。

赵 : 我自己就是证据。

忆情 : 我也自己就是证据, 先说你的。

康无垢: 老赵你不要说, 你总没有好话, 还是让忆情说。

忆情 : 让赵爷说, 我要听听他的。

周 : 他一定没好话。

赵 : 我说出来让你们也好好学学乖!

周 : 我々皆で嘆願しよう。

一同 : よし, 皆で嘆願しよう。

康無垢: 私が先陣を切る。

〔無垢は趙, 周と一緒に明玉の前にひざまづく。

趙 : 大総統, 民の気持ちをお汲み取りください。訓示を戴きますれば, 感激の至りでございます。

康無垢: まぜっかえすな。

明玉 (こらえきれず笑う)

康無垢: 話してくださいよ。

明玉 : 母は男に対して革命を起こしたいんです。

趙 : 数千年来, 女に身を滅ぼされた男がどれほどいるだろうか。私は仇を取りたい。

憶情 : 男に身を滅ぼされた女はその何百倍何千倍いるか知れませんが。その借りはあなたがたの帳簿には載ってないでしょうが。借りがあっても認めないんだから。

趙 : 女に対する借りなんて認めてたら馬鹿だよ。だが, 私の話には証拠がある。

憶情 : 私の話にはもっと有力な証拠があります。

趙 : 私自身が証拠だ。

憶情 : 私も自分自身が証拠です。どうぞ先にお話してください。

康無垢: 趙さん, あんたはしゃべるな。いつだって碌な話をしないんだから, やっぱり憶情に話してもらおう。

憶情 : 趙様に話してもらってください。趙様の話, 聞きたいですわ。

周 : きつと碌な話じゃないさ。

趙 : 話して聞かせて君たちをちょっと利

- 钱 : 要说就快说。
- 赵 : 唉, 我上女人的当可真不浅!
- 周 : 你也会上当吗?
- 赵 : 我一生就上女人的当。
- 钱 : 那个女人美不美? (站起来吸烟)
- 赵 : 不美怎么会上当?
- 李 : 那也就值得。
- 赵 : 值得? 我为她倾家败产还不说, 几乎连裤子都当了。
- 周 : 那就变了赤裸裸的爱情。
- 赵 : 我要怎么讨好, 就怎么讨好, 谁知她完全没把我放在眼里。
- 周 : 啊! 简直没放到她眼里?
- 赵 : 她气我, 骗我, 取笑我, 拿我开玩笑。我恼她恨她始终还是爱她。我觉得她变了心, 我简直要到黄浦江去投水。
- 钱 : 投了没有?
- 赵 : 当然没有投。(吸烟)
- 周 : 她怎么样?
- 赵 : 她以后跟着一个留学生跑了, 还写封信骂我一顿, 说我拿金钱压迫她, 她要完成她的什么神圣之爱。(大家笑) 我为了她一年
- 口にしてやろう。
- 钱 : 話すならさっさと話せ。
- 趙 : ああ, 私はほんとにこっぴどく女に騙されたよ。
- 周 : おまえでも騙されるのか?
- 趙 : 生まれてこのかた, ずっと女に騙されている。
- 錢 : その女は美人だったかい。(立ちあがって煙草を吸う)
- 趙 : 美人じゃなきゃ騙されるか?
- 李 : だったら騙されても騙され甲斐がある。
- 趙 : 騙され甲斐があるだって。私は彼女のせいで, 破産だけならまだしも, 下着さえ質に入れるところだったんだ。
- 周 : 赤裸々な愛情ってわけだ。
- 趙 : 思いつく限りの方法で機嫌を取ったというのに, 私は完全に彼女の眼中になかったんだ。
- 周 : ほう, まったく彼女の眼中になかっただって?
- 趙 : 彼女は私を怒らせ, 騙し, からかい, 笑い物にした。私は彼女に腹を立て恨んだが, それでもやっぱり愛していた。彼女が心変わりしたと感づいて, 本当に黄浦江に身を投げようと思った。
- 钱 : 投げたのかい?
- 趙 : もちろん投げなかったさ。(煙草を吸う)
- 周 : 彼女は怎么样了?
- 趙 : 彼女はその後ある留学生と駆け落ちし, さらにその上, 手紙を書いて私を罵ったよ。何でも, 私が金で彼女を抑圧しただ

没有回家，我第三个妾还赶来和我拼命，我把她赶了回去，我以为可以表示我爱情的坚决，谁知她还是看上留学生。所以我最恨的是留学生，他们什么都不会，就会什么爱呀情呀的吊膀子，专和我们老头子作对，所以我感觉到中国旧道德，真有提倡之必要，那些青年男女，真要给他们一点范围才好，我若不为吃饭，决不让我的儿子出洋。

忆情：完了吗？

赵：这不过是大致，情节曲折得很呢，我有一篇杆情记，几时给你看罢。

周：够了。还是忆情说。

康无垢：你来说，我来替你作篇忆情记。

忆情：我说起来可话长。

赵：哪怕你说到天亮都是好的，大家洗耳静听，禁止喧哗。

忆情：我从前在学堂里念书的时候……

钱：看不出你还念过书。

赵：女人就坏在这念书上头。

周：嗤！

忆情：我家里本有几个钱，那时候我才十五

とか、自分は神聖な愛とやらを貫くだとか。（一同笑う）私は彼女のために一年家に帰らなかった。第三の妾がやってきて私と命がけでやりあったが、追い返した。そうすることで私の愛情の固さを示せると思ったのだが、彼女はそれでも留学生に惚れた。だから、私は留学生が一番嫌いだ。あいつらは何もできないくせに、愛だとか何とかいって女を誘惑するのだけは得意で、我々大人にばかり楯突くんだ。だから、中国の旧道德は、本当に提唱する必要があると思うよ。ああいった若い男女には本当にちょっと制限を設けなきゃならん。もし生活のためでなけりゃ、決して息子を外国になど行かせない。

憶情：おしまいですか。

趙：これは大筋だけで、細かい経緯はとも込み入っているんだ。私は『懺情記』を書いたので、いつかお見せするよ。

周：もうたくさんだ。それより憶情に話してもらおう。

康無垢：話してくれ。あなたに『懺情記』を書いてあげるから。

憶情：話は長くなりますよ。

趙：夜明けまでかかったっていい。みな耳を洗って静かに聴け、騒ぐんじゃないぞ。

憶情：私が以前、学堂に通っていた頃、…

錢：学校に通っていたようには見えないな。

趙：女は勉強するというのが間違いのもどだ。

周：ふん！

憶情：私の家はもともと少々お金があつて、

岁，我每天从学堂里回去，总有一个二十来岁的男学生——其实已经快三十岁了——跟着我，我坐车他也坐车，我走路他也走路，我起初讨厌他，以后看他丝毫没有不正当的表示，我也就放了心，可不知不觉彼此就说过两句话，以后彼此就成了朋友。我是一个没见过世面的女孩子，有什么主意？有一天他约我到吴淞去看飞机，肚子饿了，他就约我去吃饭，天忽然下起大雨来，我急于要赶火车回上海，他匆匆忙忙同我到车站，不知道他是故意还是凑巧，他说他的表很准的，可是慢了十五分，末班车已经开走了。

赵：危险危险！可了不得！

忆情：我没有法子，只好听他的话，在刚才吃饭的那个酒店里住下。

赵：可惜那个男人不是我。

周：嗤……以后怎么样？

忆情：担惊受怕的一晚，也就是我生平最甜蜜的一天。

赵：妙哉！

忆情：第二天回来父亲打了我一顿，从此以后不许我上学，可是我已经有孕了。被父亲知道赶了出来，母亲可怜我，暗地下给我一千块钱。我就租了一个房子和那个人同住起来，不久就养了一个男孩子，一千块钱也

その時わたしはまだ十五歳でした。毎日、学堂から帰る時、いつも二十歳くらいの男子学生が、——実際はもう三十に手が届く年頃でしたが、——私についてくるのです。私が車に乗れば彼も乗り、私が歩けば彼も歩きます。私ははじめ彼が嫌いでした。その後、彼が少しも変な素振りを見せないのので、私も安心し、知らず知らずのうちに話をするようになり、友達になりました。私は世間知らずの女の子だったのです。しっかりした考えなんてあるはずありません。ある日、彼に誘われて呉淞に飛行機を見に行き、お腹がすいたので、食事に誘われました。急に雨が降り始めて、私は上海に戻る汽車に乗り遅れないように急ぎ、彼も慌てて私と駅に向かいました。わざとだったのか偶然だったのか、彼は自分の時計は正確だといったのに、十五分遅れていて、終列車はもう行ってしまっていました。

趙：危ない、危ない。大変だ。

憶情：私はどうしようもなく、彼の言うことを聞くしかなく、さっき食事をしたホテルに泊まりました。

趙：残念なことに、その男は私じゃない。

周：ふん、……それからどうなりました？

憶情：不安におののく一夜でしたが、私の生涯で最も幸せな一日でもありました。

趙：見事だな。

憶情：次の日、帰宅すると父にひどく打たれ、それからは学堂に行かせてもらえませんでした。父に知られて追い出されましたが、母が私を憐れんで、こっそり千元くれました。わ

用得差不多了。 刚巧他毕业了， 就说要到北京去谋事， 他走的时候， 我已经又有孕， 以后养的就是这个女孩子。

周 : 如今你的那个人哪里去了？

忆情 : 别忙， 听我说， 他到了北平， 起先还常常有信， 以后就音讯渺无， 有人说他在北京和一个陆军将官的小姐结了婚。

康无垢: 始乱终弃， 真不是个东西。

忆情 : 还有呢！ 我在上海跟人家洗衣服做手工什么都干， 好容易没把两个小孩子冻死饿死。

赵 : 有志气！

忆情 : 谁想到愁苦的人， 又生起病来， 病得正厉害的时候， 听说母亲死了， 临死的时候还叫老妈子送两百块钱给我， 我连送终都没有能去！ 我扶着病回家， 看见挂着丧幡白布， 父亲还是很严厉地不让我进门， (哭， 其女也哭， 大家唏嘘) 母亲的恩是再也不能报的了！ 我就拿了母亲给我的钱还了些柴米账， 剩下的钱作盘费去到北京找他去。

たしは部屋を一つ借り， その人と同居し始め， まもなく男の子が生まれて， 千元のお金もほとんど底をつきました。 ちょうど， 彼が卒業して， 北京に職を探しにいくと言って出て行った時， わたしはまた妊娠していて， その後生まれたのが， この娘です。

周 : 今， あなたのその人はどこにいるのですか？

憶情 : あせらないで聞いてください。 彼が北平に着いた当座は， それでもよく便りがありました。 その後， 音信も途絶えがちになり， 人の噂では， 北京で陸軍将校のご令嬢と結婚したということでした。

康無垢: 弄んで棄てたってわけだ。 人でなしめ。

憶情 : それだけじゃありません。 私は上海で雇われて洗濯や針仕事なんかを何でもやって， やつとのことで二人の子を凍え死にや飢え死にをさせずに済んだのです。

趙 : 気骨があるな。

憶情 : それが， ただでさえ苦しいところに， 病気に罹って， 病気がちょうどひどい時に， 母が亡くなったと聞いたんです。 臨終のときにまで女中 (ばあや) に私に二百元贈るようにいいつけたというのに， 私は最期も看取ることはできなかった (死に目にもあえなかった)。 私は病をおして家に帰り， お葬式の白い幟が掛かっているのを見たのだけれど， 父はそれでも厳しくて私を家に入れなかったわ。(泣く。 娘も泣き， 一同すすり泣く) 母の恩にはもう報いることはできなくなりました。 わたしは母がくれたお金で生活費のつけを払って， 残った

赵 :这真是一出赵五娘寻夫。

忆情 :可不是吗?前几天我还看了一出赵五娘寻夫,我哭得几乎晕过去,没看完我就走了。

康无垢:你到北京一定没有找着他。

忆情 :我一到北京,冤家路窄,就在路上遇见他了。

康无垢:他怎么样?

忆情 :他和一个女子坐了一辆很漂亮的汽车驶过去,汽车旁边还站着两个背枪的兵,我拼命地跟着后头叫,哪里叫得应?

康无垢:可恶!

忆情 :以后好不容易打听到他的地方,他也知道我到了北京,可巧那时候正拿革命党,他就诬赖我是女革命,要驱逐我出京,我想见他见不着,想告他干不过他,以后他托人来给了我一些钱,又弄几个很凶的流氓迫我出京,我无论怎么不肯走,听说他要暗害我的儿女,我只得忍着眼泪被押解似的上了火车。

お金を旅費にして北京に彼を探しにいきました。

趙 :こりゃ「趙五娘夫を尋ねる」の一幕だな。

憶情 :そうですとも。数日前、私は「趙五娘夫を尋ねる」を見て、もう少しで気を失いそうになるほど泣き、最後まで見ずに帰りました。

康無垢:北京に行って彼を見つけられなかったのでしょうか。

憶情 :私は北京に着くと、会いたくない人には会うものだといいますが、道で彼にばったり会ったのです。

康無垢:彼はどうしました?

憶情 :彼は一人の女性と立派な自動車に乗って走り去りました。自動車のわきには銃を背負った兵士まで二人立っていて、私は必死で追いかけて叫んだのですが、応えてくれるはずがありません。

康無垢:なんてひどいことだ。

憶情 :その後、やっこのことで彼の家を問い合わせることができて、彼も私が北京に来たのを知りました。ちょうどその頃革命党が引っ張られていて、彼は私が女性革命家だと根も葉もないことを言って、私を北京から追い出そうとしたんです。彼に会おうとしても会えず、訴えようとしても彼に敵うはずもなく、その後、彼は人に託して少しばかりお金をくれ、とても恐ろしいやくざを雇って私を北京から追い払おうとし、私がどうしても出て行こうとしないと、子供たちに害を加えようとしていると聞き、涙を堪えて護送されるように汽車に

康无垢:混账!

忆情 :到了天津上船的时候,忽然又把我的儿子抢了去,留下一封不署名的信说:儿子是他家的骨肉,不能归我,女儿呢,总是人家人,随我处置。

康无垢:天底下居然有这样丧尽天良的人!

忆情 :我气得几乎要死。哭也没有眼泪,我爱护我这个女儿,我思念着我那个儿子,以为天地虽大总有相见的机会,以后听说袁世凯失败,他也就没了消息,我含悲忍痛,风尘漂泊地到了如今。

周 :可怜可怜。

忆情 :十几年我看透了,得过且过,可是我深知道女孩子不要关在家里,应当给她多有些阅历。我这个女儿,我从小就让她和许多男孩子在一处,我又时时刻刻指点她,告诉她,让她预防男人的危险,我想她再不会像我一样上当的了。

康无垢:你可以把那个人的名字,告诉我吗?

忆情 :为什么?

康无垢:让我也知道知道,如果这人还在,他们可以想法子使他伏罪,或者叫你那儿子来和你母子相见。

乘りました。

康無垢:ひどい男だ。

憶情 :天津に着いて,船に乗るとき,突然息子が奪われ,息子は彼の家の血筋だから私に任せるわけにはいかないが,娘はどうせよそ者だから私の好きなようにするがいいと書かれた署名のない手紙を置いていきました。

康無垢:世の中にそれほど良心のかけらもない人間がいるとは。

憶情 :私は腹立ちのあまり死にそうでした。泣いても涙は出ませんでした。この娘を大切にしながら,その息子を恋しく思い,世間は広いけれどいつかは会えると思っていました。その後,袁世凱が失敗し,彼の消息もなくなり,私は悲しみをこらえながら,落ちぶれさすらいながら,今に到りました。

周 :気の毒に。

憶情 :十数年で私はあきらめもつき,なんとかその日暮らしをしてきましたが,女の子は家に閉じ込めておくのではなく,多く経験を積ませるべきだとよくわかっていきます。わたしのこの娘は小さい時から男の子たちと同席させ,絶えず教え諭し,話をし,男に関わる危険を防ぐようにさせてきました。この娘はもう私のように騙されてほしくはありませんから。

康無垢:その人の名を教えてください。

憶情 :どうして?

康無垢:わたしに教えてください,その人がまだ生きていたら,なんとかして彼を罪に服させますし,もしかしたら,そのお子さんと対面させてあげられるかもしれません。

忆情：不，男人家决不肯在女子面前大公报私地认错，二来那儿子受了他父亲的教育，我也不想要了，我还是过我的流浪生活吧！

康无垢：你把那个人的名字告诉我，也免得他再来造孽，他既是这种人，一定也能害别人的，我一定要帮你的忙。

赵：帮丈母娘的忙是应当的！

忆情：这个人跟你同姓，他叫康正名。

康无垢：康正名？这个名字我见过……呵是了，我在旧书里看见过一张名片，问我们老人家，他说是一个远房的叔父，已经死了。

赵：真死了倒也罢了！我不信你和正名有这么一段故事。

忆情：赵爷你说还是男人狠还是女人狠？

康无垢：赵先生知道我那远房的叔父吗？

赵：人我是知道，这件事我今天才听见她说，可是我以为她的话靠不住。

忆情：我也不和你说，只是我认定男人处处害女人就完了。

〔仆人提着皮包进来。〕

仆：快些快些！老爷回来了！（回身走了出去）

憶情：いいえ、男の人は決して女の前で公然と非を認めたりしませんし、それにその息子だって、父親の教育を受けているんですから、今更いりません。やっぱり今までどおり流れ者として生きていきますわ。

康無垢：その人の名前を言ってください。彼がまた罪作りなことをしないように。彼がそんな人なら、きっと別の人にもひどいことをするでしょうから、是非あなたをお助けしたい。

趙：姑を助けるのは当たり前だ。

憶情：その人はあなたと姓が同じで、康正名といいます。

康無垢：康正名だって？その名前は見たことが、……そうだ、古い本の中の名刺を見て、父に聞いたら、遠縁の叔父で、もう死んだと言ってた。

趙：本当に死んだんならいいが！私はあんたと正名にそんなことがあったとは信じられん。

憶情：趙様、あなたは男が残酷だと思いませんか、それとも女が残酷だと思いませんか？

康無垢：趙さんは私のその遠縁の叔父を知ってるんですか？

趙：その人のことは知っていますが、いまの話は今日初めて聞きました。だが、私は彼女のいったことは当てにならないと思いますね。

憶情：もうあなたにはお話ししないわ。私はただ男が到るところで女を害していると固く信じているだけよ。

〔下僕が鞆を持って入ってくる。〕

下僕：お急ぎください、旦那様が帰って

(大家慌张把扑克收起，忆情母女想走，已经听见外头有说话的声音。)

声：少爷没出去吗？

赵：屏风后，屏风后！

(忆情母女急藏屏风后。康扶持进门，慢慢地放下司迭克，四面一望，室中人站一排从身后将牌递过屏风后。)

赵：会长回来了。

康扶持：你们在这里干什么？怎么这样的慌张？

赵：我们在这里研究上海的风化问题……会长怎么就回来了？

康扶持：我有要紧的事回来的。(低头一看)地下那是什么？(大家齐看)不是一张外国牌吗？怎么会有这个东西？无垢，一定是你不长进，偷着在这里打牌，还不实说！

赵：没有的，我可以拿一生的名誉作保证没有的。不论会长在与不在，他们各位都是奉公守法，一丝不苟的。我才来他们……

康扶持：屏风上是谁的衣服？

らっしゃいました。(向きを変えて出て行く)

〔一同大慌てに慌ててカードを片づける。憶情母娘は帰ろうとするが、すでに外で話す声が聞こえる。〕

外の声：若様は出かけてないのか？

趙：屏風の後ろ，屏風の後ろだ！

〔憶情母娘は急いで屏風の後ろに隠れる。康扶持が入ってきて，ゆっくりとステッキを置き，ぐるっと部屋を見回す。部屋の中の人は一列に立って，カードを身体の後ろ側で手から手へと受け渡し，屏風の後ろにやる。〕

趙：会長，おかえりなさい。

康扶持：お前たち，ここで何をやってるんだ？ どうしてそんなに慌ててるんだ？

趙：私たちはここで上海の道德問題について検討していたんです。……会長はどうしてお帰りに？

康扶持：大事な用があって帰ってきた。(俯いて見て)床に有るのは何だ？(一同一斉に見る)外国のカードじゃないか？ どうしてこんなものがあるんだ？ 無垢，きっとお前がだらしなくって，こっそりここでカードをやってたんだろう。さっさと本当のことを言え。

趙：私は一生の名誉をかけて，そんなことはしていないと保証します。会長がいらっしやっても，いらっしやなくても，彼らは皆真面目にきちんと，少しもいい加減なことはしません。私は今来たところですが，彼らは……

康扶持：屏風の上にあるのは誰の服だ？

(大家推周。

周 : 这……这是我内人的。

康扶持: 你夫人我是见过的, 她从来不穿这样华丽的衣裳。

周 : 是的是的……就是上海这个地方不好, 一来就染了这个奢侈的习气。

康扶持: 请你太太出来见……

周 : 我因为气不过, 剥了她这件衣服, 把她一顿骂, 回去了, 真是惭愧。

康扶持: 不见得不见得, 你们一定不妥! 我平常怎么对你们说, 要维持社会的道德, 应当先维持自己的道德, 要维持社会的风化, 应当先敦饬自己的品行, 你们应当身体力行才是, 怎么会趋于下流? 今天我要是不彻底的追究一下, 我还作什么道德维持会的会长? 无垢你这不孝的东西, 到底是根基不好吗?

大家 : ……(无垢耸立不动)

康扶持: 屏风后头是谁? 来, 替我把屏风拿开!

赵 : 老先生请别生气, 老实说这屏风去不得。

康扶持: 为什么?

赵 : 从前以为去得, 今天晚上才发现了这屏风万万去不得。

〔一同, 周を前に押し出す。

周 : こ, これは私の家内のです。

康扶持: あんたの奥さんは会ったことがあるが, こんな派手な衣装を着ていたことはない。

周 : そうなんです。……上海という場所がよくないんです。来てすぐこんな贅沢な風習に染まってしまうして。

康扶持: 奥さんに出てきてもらって……

周 : 私はあまりにも腹が立ったので, あれのこの服をひきはがして, ひとしきり罵って, 家に帰りました。本当にお恥ずかしい限りで。

康扶持: どうもそうは思えん。お前たちはきつと悪さをしただろう。私はいつもお前たちにどう言っている? 社会の道德を維持するためには, まず自分の道德を維持しなければならん。社会の教化を維持するためには, まず自分の品行を正さねばならん。お前たちは身を以って実行するべきなのだ。どうして低俗な真似をするんだ? 今日, 徹底的に追究しないことには, 道德維持会の会長などやってられん。無垢, このできそこないめが。そもそも素姓がよくないのか?

一同 : ……(無垢はまっすぐ立って微動だにしない。

康扶持: 屏風の後ろには誰がいるんだ? さあ, 屏風を取り払え!

趙 : 会長怒らないでください。率直に言って, この屏風は取り払えません。

康扶持: なぜだ?

趙 : 以前は取り払えると思っていましたが, 今晚初めてこの屏風は絶対に取り払えないと気づきました。

康扶持: 胡闹! 不成话!

赵 : 不要看这个屏风小, 几千年的道德, 全靠这个屏风, 会长, 你要去这屏风就是破坏道德; 你想想维持道德, 你就应当先维持这屏风。

康扶持: 你这个话简直是疯了。来, 快快拿了屏风! 这还了得!

(话犹未了, 忆情已经移开屏风, 走了出来。

忆情 : 老三, 想不到始终要相见! 各位要知, 道害我的就是他!

(大家愕然。

康扶持: 我不认识你!

康无垢: 我全明白了! (对忆情) 妈! 我是你的儿子! (回头对明玉) 妹妹! 我实在对不起你! (明玉痛哭) 我除了自杀没有第二条路! (推开母亲和妹妹往外就跑, 忆情母女急追, 钱、李同追出。 静默。康扶持取手杖戴帽低着头也想往外走, 周拉住他)

周 : 会长, 保重些, 我们对外不发表, 总还是要维持我们这个会。

康扶持: 女人真是道德的魔障!

赵 : 我说这屏风去不得!

(康扶持倒在沙发上。

康扶持: ふざけるな! 話にならん!

趙 : この屏風をなめてはいけません。数千年の道德がみなこの屏風にかかっているんです。会長, この屏風を取り払えば, 道德を破壊することになります。もし道德を維持しようと思うなら, まずこの屏風を維持しなければなりません。

康扶持: お前の言うことはまったく狂っとる。さあ, さっさと屏風をどけろ! まったくどうしようもない。

[話が終わらないうちに, 憶情が屏風を動かして出てくる。

憶情 : 正名さん, 結局会うことになるとはね。みなさん, 私の身を滅ぼしたのはこの男よ。

[一同愕然とする。

康扶持: お前なんぞ知らん。

康無垢: すっかりわかった! (憶情に) お母さん, 私はあなたの息子です! (向き直って明玉に) 妹よ, 本当にすまないことをした。(明玉激しく泣く) 私は自殺する以外に道はない! (母親と妹を押しつけ, 外へとび出す。憶情母娘が急いで追いかけて, 銭、李も追いかけて外へ出る。静寂。康扶持はステッキをとり帽子を被って, 下を向いて外に出ようとする。周が引き留める。)

周 : 会長, 自重してください。我々は外には発表しません。何といたっても我々のこの会を維持しなければなりませんからね。

康扶持: 女は本当に道德の妨げだ!

趙 : だから, この屏風は取り払えないって言ったでしょう!

[康扶持ソファに倒れる。